とくしま教員育成指標

平成30年1月 徳島県教育委員会

目 次

Ι	とくしま教員育成指標策定の背景及び趣旨	1
п	とくしま教員育成指標の基本方針	
	1 目的	1
	2 本県が目指す教員像	1
Ш	とくしま教員育成指標の内容	
	1 対象職種等について	1
	2 キャリアステージについて	1
	3 求められる資質・能力について	3
IV	とくしま教員育成指標の活用例	5
V	とくしま教員育成指標を踏まえた教職員研修	5
	とくしま教員育成指標	
	1 小学校教諭用	6
	2 中学校教諭用	8
	3 高等学校教諭用	1 0
	4 特別支援学校教諭用	1 2
	5 養護教諭用	1 4
	6 栄養教諭用	1 6
	7 管理職用	1 8
	とくしま教職員研修体系	2 0

I とくしま教員育成指標策定の背景及び趣旨

学校現場においては近年,教員の大量退職・大量採用等の影響により,年齢構成や経験年数の不均衡が生じ,先輩教員から若手教員への知識・技能の伝達が困難な状況となるなど,教員を巡る環境が大きく変化している。

また,グローバル化や情報化の急速な進展等,世の中が急速に変化する中にあって, こうした状況を踏まえた新しい時代の教育に対応し,学習指導要領の趣旨を実現するための教員の資質向上に向けた環境を整える必要がある。

平成28年11月,教育公務員特例法の一部改正法が公布され(施行は平成29年4月1日),教員の養成・採用・研修を通じた新たな体制の構築等のため、公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、大学等からなる協議会における協議を経て、文部科学大臣が策定する指針を参酌しつつ、地域の実情に応じ、教員等の資質の向上に関する指標を策定するとともに、指標を踏まえた教員研修計画を定めることとされた。

こうした状況を踏まえ、徳島県教育委員会は、大学・市町村教育委員会・学校・企業 関係者及び徳島県教育委員会事務局関係者で組織する「とくしま教員育成協議会」を設 置して協議を行い、教員等が高度専門的職業としての職責、経験及び適性に応じて身に 付けるべき資質・能力を明確化するため、「とくしま教員育成指標」を策定した。

Ⅱ とくしま教員育成指標の基本方針

1 目的

本県の教員一人ひとりが自身のキャリア段階を想起できる共通の「指針」,管理職等のマネジメントによる人材育成の「道しるべ」を示すことにより,教員が教職生活全体を通して,効果的・継続的に学び続ける意欲を喚起する。

2 本県が目指す教員像

「徳島教育大綱」における基本方針,「とくしまの未来を切り拓く,夢あふれる『人財』の育成」を目指し,主体的に学び続け自己を高める教員

Ⅲ とくしま教員育成指標の内容

1 対象職種等について

小学校教諭,中学校教諭,高等学校教諭,特別支援学校教諭,養護教諭,栄養教諭, 管理職

2 キャリアステージについて

「採用時に本県が求める姿」をスタートに、成長段階を大きく3ステージに分けて

いる。ただし、第2ステージは、キャリアアップの目標をより明確に意識し、段階的 にミドルリーダーとしての資質・能力の定着を図ることができるよう、さらに2つに 分けている。

なお、教員等のキャリアアップには個人差があるため、経験年数や年齢によって一 律に分けて示すのではなく、学校現場や個人の状況・役割等に応じて、現在の自分が どこに当てはまるのかを判断したり、資質・能力の向上を図ったりする際の目安とす る。

○採用時に本県が求める姿【養成期】

教員として児童生徒を教育する意欲をもち、教育活動に取り組むための基礎的な 知識・技能と幅広い教養を身に付けている姿を目指している。

○第1ステージ【基盤形成期】

学習指導や生徒指導・学級経営についての実践的指導力を磨き、教職生活の基盤を固めている。組織の一員として、他の教員と積極的に関わり、業務を誠実に遂行する中で、自身が果たすべき役割への自覚を高めている。また、保護者や地域社会と関わる習慣と、実践を振り返り改善する習慣を身に付けている姿を目指している。

○第2ステージ【前半:伸長・充実期 後半:深化・発展期】

実践的指導力に関する専門性を高めるとともに、ミドルリーダーとしての推進力 を発揮している。

ステージ前半では、若手教員を支援したり、校内のグループリーダーとして他の 教員と連携したりしながら業務を遂行する中で、ミドルリーダーとしての自覚をも っている姿を目指している。

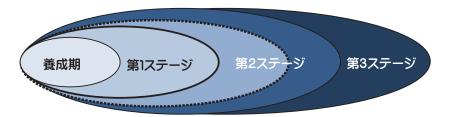
ステージ後半では、ミドルリーダーとしての役割と責任を自覚し、前半に身に付けた力を組織の活性化に向けている。学校の教育活動の中核として積極的に他の教員や家庭、地域に働きかけている姿を目指している。

○第3ステージ【熟達期】

経験に裏打ちされ、熟練した実践的指導力をもとに、範を示すなど、後進の育成に当たっている。学校全体を支えるリーダーの一人として、これまでの豊富な経験を生かし、広い視野で組織的な運営・経営を行っている。

また、学校を活性化するための体制や環境づくりを推進している。さらに、家庭や地域との協働活動における自身の役割を意識して行動している姿を目指している。

- ※ 全ての成長段階を一律に分けるのではなく、2段階、3段階、4段階と柔軟に示している。
- ※ 各ステージで身に付けた資質・能力が基礎となり、その上に次のステージの資質 ・能力が加わっていく「資質・能力のグラデーション」となっている。



※ 管理職については、資質・能力向上の状況をステージで捉えるのではなく、「校 長」「副校長」「教頭」という職位で分けて示している。

3 求められる資質・能力について

各校種の教諭用は「素養」「担任力」「授業力」「協働力」、養護教諭用と栄養教諭用については「素養」「担任力」「専門的職務実践力」「協働力」、管理職用については「素養」「学校マネジメント力」を位置付け、それぞれにおいてさらに具体的に設定している。

○教諭用

素養	「使命感・情熱・たくましさ」「倫理観」「人権尊重の精神」「識見・学び続ける力」「社会性・コミュニケーション力」
担任力	◇小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭 「児童生徒理解・指導力」「集団づくり力」「課題解決力」「特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力」「未来ビジョン育成力」 ◇特別支援学校教諭 「幼児児童生徒理解・指導力」「目標の明確化・実態把握力」「集団づくり力」「課題解決力」「未来ビジョン育成力」
授業力	「カリキュラムマネジメント力」「授業構想力」「授業実践力」「授業省 察力・改善力」
協働力	「組織マネジメント力」「OJT推進・人材育成力」「危機管理力」「家庭・地域とのネットワーク構築力」

○養護教諭用

教諭用の育成指標の「授業力」の部分に、「専門的職務実践力」として、次の資質・能力

を位置付ける。

専門的職務実践力	「保健管理」	「保健教育」	「健康相談」	「保健組織活動」	「保健室経営」
----------	--------	--------	--------	----------	---------

○栄養教諭用

教諭用の育成指標の「授業力」の部分に、「専門的職務実践力」として、次の資質・能力 を位置付ける。

専門的職務実践力	「学校給食の管理」「個別的な相談指導」「教科等における教育指導」「食育コーディネーターとしての連携・調整」「食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開」
----------	---

○管理職用

素養	「使命感・責任感」「倫理観」「リーダーシップ・決断力」「先見性・識見」「社会性・人間関係構築力」
学校マネジメント力	「企画経営力」「組織づくり力」「危機管理力」「学校資源整備・活用力」「人材育成力」「連携・交渉力」「職場環境づくり力」

- ※「担任力」は、児童生徒一人ひとりを大切にし、個性や可能性を伸長・発揮させるために、学級(ホームルーム)の経営はもとより、学年、委員会活動、部活動等、児童生徒が活動する集団の担任として、全ての教員に求められる資質・能力である。
- ※「未来ビジョン育成力」は、学ぶこと・働くことの意義や地域社会における自分の役割を理解し、将来を描き課題解決に向けて主体的に行動する力を児童生徒に育成するために、キャリア教育の視点に立ち、教育活動を展開する資質・能力である。徳島教育大綱に示されている「未来を切り拓く」力の育成と大きく関わる。
- ※主幹教諭については、各校種の教諭用の指標における「第3ステージ(熟達期)」 の資質・能力に加え、管理職用の指標における「教頭」につながる資質・能力を 有しているものとする。
- ※指導教諭については、各校種の教諭用の指標における「第3ステージ(熟達期)」 の資質・能力を有し、リーダーシップを発揮しているものとする。

Ⅳ とくしま教員育成指標の活用例

管理職	○学校経営ビジョンに基づく、組織的な人材育成○自身の現時点での資質・能力の把握と資質向上
教員	○自身の現時点での資質・能力の把握と資質向上○自身のキャリアアップの目標設定の手がかり
教育委員会	○中・長期的な視野に立った計画的・組織的な人材育成○研修体系の構築と新たな研修プログラムの開発

Ⅴ とくしま教員育成指標を踏まえた教職員研修

「とくしま教員育成指標」を踏まえて研修体系を再構築し、教職生活全体を通じて「学び続ける教員」を支えるため、新たに「とくしま教職員研修計画」を策定し、平成30年度から実施する。

- ◇教職員の業務に対する不安を和らげ、教職生活の円滑なスタートのために 採用前研修
- ◇教職経験に応じて、必要な知識・技能等の習得のために フレッシュ研修 I・Ⅱ ジャンプアップ研修 ミドルリーダー研修 I・Ⅱ エキスパート研修
- ◇学校や地域におけるリーダーシップを育成するために リーダーシップ養成研修
- ◇指導技術や指導方法,担当した職務等に応じた専門性の向上のために 学校リーダー研修 主幹教諭・指導教諭研修 等
- ※この他にも「特別研修」「認定講習」「大学・研究機関等研修」「派遣研修」等を実施
 - ・教職員個々の能力,ニーズに対応し、教育実践に役立つ実効性のある研修を実施する。
 - ・OFF-JT (県立総合教育センター等で行う研修等,学校外における研修)を通じて、自己啓発やOJT推進への意欲を高める。
 - ・授業力の向上に関する研修に関して、先輩教員と後輩教員とが共に学び合 うマッチング方式を取り入れる。
 - ・ミドルリーダーの育成に向けて、マネジメント力(組織マネジメント、カリキュラムマネジメント)やコーチング力の向上に関する研修を充実する。
 - ・実施日数の平準化, e-ラーニングやサテライト方式による研修を推進することにより、参加しやすい環境を構築する。

とくしま教員育成指標

	キャリアステージ	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ス	テージ〉	〈第3ステージ〉
資質	·能力	養成期	基盤形成期	伸長•充実期	深化▪発展期	熟達期
	使命感・情熱・たくましさ	○ 教育的愛情と熱意を もって教育活動に臨 もうとしている。	○「とくしま」を愛し,徳! ている「人財」の育成 情熱をもって,たくま! 動に取り組んでいる。	を目指し,使命感と しく,粘り強く教育活	○ 使命感と教職への と柔軟性をもって, る。	誇り,たくましい精神力 教育活動を推進してい
	倫 理 観	○ 社会人としての常識 やマナー, 道徳性を身 に付け, 法令遵守の 精神に基づいた行 動をしている。	し, 家庭や地域の信頼	公正に職責を遂行	○家庭や地域の信頼 を周囲の教職員に を高めている。	順に応え, 法令等の遵守 :働きかけ, 組織の志気
素養	人権尊重の精神	○ 自他を大切にし, 人 権感覚を身に付け, 互いに尊重し合う人 間関係を築いてい る。		めを許さない集団を り愛情をもち、人権を	に向けて、関係機	権に関する課題の解決 関等とともに取り組み, バ高まるよう家庭や地域
	識見・学び続けるカ	○ 学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を もに、主体的に研修に			>をもって自己研鑽に努
	社 会 性・コミュニケーションカ	○コミュニケーションス キルを身に付け,他 者と積極的に関わ り,助け合っている。			ともに、管理職や	ーションを活性化すると 学年・職種等の異なる教 となり、支え合う環境づ
	児童生徒理解・ 指 導 カ	○児童理解の意義を 理解し、生徒指導や 教育相談等の基本 的な方法を身に付 けている。	人ひとりの人格を尊 重し, 共感的理解に	理解し, 長期的な 資質や行動力を 的・計画的に指導	:視野をもって社会的 獲得できるよう意図 算・支援をするととも	るとともに,全ての
	集 団 づ く り カ	○担任の職務内容や 集団づくりの意義を 理解し、学級経営の 基本的な指導方法 を身に付けている。		て, よりよい集団 団相互の関わりを	々な集団活動に対し に高めるとともに, 集 活性化させている。	
担任力	課題解決力	○ 学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	他の教職員と相談し ながら、的確に課題	め,必要に応じて ら課題解決を図り	「専門家と連携しなが り、その様々な方策に	様々な課題を把握
	特別な配慮を要する児童生 徒 へ の 理 解・支 援 カ	○特別支援教育の重 要性を理解し、基本 的な指導·支援の方 法を身に付けてい る。		性を高め, 児童の 援を行うとともに し, 特性に応じた!	対応するための専門)成長を促す指導・支 ,関係機関とも連携 指導・支援の在り方を	システム構築に向 けた体制づくりを推
	未 来 ビ ジョン 育 成 カ	○ キャリア教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	〇キャリア教育の視点を踏まえ、自分のの場点を自覚できる意味を見います。 を対しまではいる場ではないできる。 を考える活動を設定し、児童の自己を高めている。	キャリア教育の視集団を組織したり 域,企業等との退ら,あらゆる教育	野と低・中・高学年の 見点を踏まえ、異年齢 り、他校種や家庭、地 直携を図ったりしなが 活動を通じて指導・支	体を通じて、キャリア 教育の視点を踏ま えた指導が充実す

	キャリアステージ	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ステージ〉	〈第3ステージ〉
資質	·能力	養成期	基盤形成期	伸長•充実期 深化•発展期	熟達期
	カ リ キ ュ ラ ムマネジメントカ	○ 学習指導要領の「目標」「内容」や系統等標」でいる。	がら,学校のカリ キュラムを活用して いる。	対応するため、 目的や意図を明 確にしたカリキュ ラムを提案して いる。 接続を見通して、 学校の特色を生 かした創意エス のあるカリキュラ ムを作成してし る。	の教育活動全体を 踏まえながら,カリ キュラムを見直し, 組織的に改善したり 調整したりしてい る。
			等の結果を, 日々の 授業改善に結び付 けている。	て, 長期的・継続的な改善策を提案し 実践している。	か 価等の結果に基づ ショウをの課題を把 握し、改善策を組織 的に展開している。
授業	授業構想力	○ 児童の活動の姿や 思考の流れを想定し ながら, 教材を分析 し, 学習指導案を書 いている。	育成を目指す資質・ 能力の定着に向け、	夫のある授業を構想したり, 教材開発	経験を基に、単元・
力	授業実践力	○基本的な指導技術 を身に付け、児童の 学習の様子を把握し ながら授業を実践し ようとしている。		○ 最新の知見に基づいた指導技術や指導方法を活用し、授業を展開するとともに、若手教員に助言をしている。	
			○児童の習得状況を 目標に照らして評価 し、指導・支援をして いる。		〇個と集団の質的な 学習の深まりを把
	授業省察力・改善力	○ 授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	り改善する習慣や、	自分の授業を客観的に評価し、授業改	善に取り組む環境
	組 織 マネ ジメントカ		理解し、報告・連絡・ 相談を適切に行いな	┃ クルを活用したり┃ し 他のグルーフ	向け,「チーム学 を」としての組織力 が発揮できるよう率 先して工夫改善に 努め,学校全体の
			○校務分掌等の業務 内容を理解し、計画 的に職務遂行に努 めている。		業務の効率化を推 している。
協働力	O J T 推 進 · 人 材 育 成 力		○ 互いの課題や悩み を解決するため情報 交換を積極的に行う とともに、先輩教員 に相談したり助言を 求めたりしている。	とともに、若手教 手教員に助言をし	を踏まえ, OJTを計
	危 機 管 理 力	○安全教育・防災教育 をはじめ危機管理の 重要性を理解し、危 険を察知したとき、 状況に応じた行動を している。	〇安全教育・防災教育 をはじめ危機管理に 関する知識を身に付け、早期発見や想対の け、早期発見や想対応 外の事態への対に い努め、緊急時にして 分の役割を果たして いる。	危険を予測して い、対応を考え、 行動するととも グループの中心と に、安全に配慮 なって未然防止に した環境づくりを 向け行動してし	トリート かし、地域と協働した創意工夫のある 安全教育・防災教育の取組を発信し
	家 庭 ・ 地 域 と の ネットワーク構 築 カ	○家庭や地域と連携 する重要性を理解 し、ボランティア活動 や地域の行事等へ 参加している。	携・協働の意義を踏	統行事等)につ を充実させるため いての情報を把 のネットワークを] の役割を認識し, 家 庭や地域と協働す

	キャリアステージ	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ス	、テージ〉	〈第3ステージ〉
資質	·能力	養成期	基盤形成期	伸長·充実期	深化·発展期	熟達期
	使 命 感 ・ 情 熱 ・ た く ま し さ	○教育的愛情と熱意を もって教育活動に臨 もうとしている。		を目指し,使命感と しく,粘り強く教育活		誇り,たくましい精神力と 育活動を推進している。
素養	倫理観	○ 社会人としての常識 やマナー, 道徳性を身 に付け, 法令遵守の 精神に基づいた行動 をしている。	を遵守し, 誠実かつ し, 家庭や地域の信頼	公正に職責を遂行		に応え, 法令等の遵守を きかけ, 組織の志気を高
	人権尊重の精神	○ 自他を大切にし、人 権感覚を身に付け、 互いに尊重し合う人 間関係を築いてい る。	を把握し、差別やい! をつくるとともに、教	じめを許さない集団 育的愛情をもち, 人	向けて、関係機関	権に関する課題の解決に 等とともに取り組み、人権 るよう家庭や地域に広め
	識見・学び続けるカ	○学び続ける意欲をも ち,他者の意見を謙 虚に受け止めてい る。	もに、主体的に研修に			「ちされた識見を有し, 課もって自己研鑽に努める ている。
	社 会 性 ・ コミュニケーションカ	〇コミュニケーションス キルを身に付け、他 者と積極的に関わ り、助け合っている。	分の考えを適切に伝		に, 管理職や学年	・ションを活性化するととも ・職種等の異なる教職員 リ、支え合う環境づくりをし
	児 童 生 徒 理 解 · 指 導 力	○生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	人ひとりの人格を尊 重し、共感的理解に	理解し,長期的な 資質や行動力を	は視野をもって社会的 ・獲得できるよ う 意図 導・支援をするととも	もに、全ての教職員で
	集 団 づ くり カ	○ 担任の職務内容や集 団づくりの意義を理 解し、学級経営の基 本的な指導方法を身 に付けている。	生徒会や部活動等 の集団の経営方針	て, よりよい集団	々な集団活動に対し に高めるとともに、集 E活性化させている。	○学校全体の集団づくり の取組を視野に入 れ、活性化させるため の具体的方策を提案 している。
担任力	課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発生と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	き, 生徒, 保護者, 他の教職員と相談し ながら, 的確に課題	め,必要に応じて ら課題解決を図り	とや迅速な発見に努 に専門家と連携しながり、その様々な方策に こ助言をしている。	○学校が直面する様々 な課題を把握し、組織 的できめ細やかな指 導・支援が行われるよ う働きかけている。
	特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援カ	○特別支援教育の重要 性を理解し、基本的 な指導・支援の方法 を身に付けている。	ニーズを把握し、他	性を高め, 生徒の 援を行うとともに	対応するための専門 D成長を促す指導・支 , 関係機関とも連携 指導・支援の在り方を	
	未来ビジョン育成力	〇キャリア教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	を踏まえた指導の場	とキャリア教育の 種をこえた連携 ^を 等との連携を図り	て, グローカルな視野) 視点を踏まえ, 学校 や, 家庭, 地域, 企業 りながら, あらゆる教 音導・支援をしている。	育の視点を踏まえた

キャリアステージ		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ス	、テージ〉	〈第3ステージ〉
資質	·能力	養成期	基盤形成期	伸長·充実期	深化∙発展期	熟達期
	カ リ キ ュ ラ ム マネジメントカ	○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等 標」「内容」 を理解している。		たな教育課題に 対応するため,	や幼・小・中・高の 接続を見通して、	えながら, カリキュラム を見直し, 組織的に改 善したり調整したりし
			○学力調査・学校評価 等の結果を,日々の 授業改善に結び付 けている。	き、学年や担当	評価等の結果に基づ 教科等の中心となっ 的な改善策を提案し	
授業力	授業構想力	○生徒の活動の姿や思 考の流れを想定しな がら、教材を分析し、 担当教科等の学習指 導案を書いている。	担当教科等の育成 を目指す資質・能力	おける育成を目指 を図るため, 創意	に応じ, 担当教科等に 旨す資質・能力の定着 江大のある授業を構 発に取り組んだりして	
	授 業 実 践 力	○基本的な指導技術を 身に付け、生徒の学 習の様子を把握しな がら授業を実践しよう としている。	能力の定着に向け, 発問・板書・ICT機器	導方法を活用し,	授業を展開するとと	〇幅広い情報を基に自 分の指導技術や指導 方法を更新しつつ, 範 を示したり, 授業力向 上を働きかけたりして いる。
			○生徒の習得状況を 目標に照らして評価 し、指導・支援をして いる。	けて、一人ひとりの	的な変容にも目を向 の習得状況を把握し、 は指導・支援をしてい	○個と集団の質的な学 習の深まりを把握し, 意図的・計画的な指 導・支援をしている。
	授業省察力・改善力	○授業を分析して改善 する手立てを理解し、 実践しようとしてい る。	り改善する習慣や、	積極的に行うとと 自分の授業を客額	もに、助言を受けて、 閲的に評価し、授業改	○学校全体の授業改善 に取り組む環境づくり に努め、教員の個性 を生かす助言をしてい る。
	組 織 マネジメントカ	○組織の一員として, 目標と自分の役割を 理解し、協働して責任を果たそうとしている。	理解し、報告・連絡・ 相談を適切に行いな	と弱みを分析し たり, PDCAサイ クルを活用した	として, 創意工夫 や企画力を発揮 し, 他のグループ とも連携・調整をし	ての組織力が発揮で きるよう率先して工夫 改善に努め、学校全
			○校務分掌等の業務 内容を理解し、計画 的に職務遂行に努 めている。	務を、周囲の教	務の工夫改善を 図るとともに、若	ている。
協働力	O J T 推 進· 人 材 育 成 カ		○ 互いの課題や悩み を解決するため情報 交換を積極的に行う とともに, 先輩教員 に相談したり助言を 求めたりしている。	びの共有を図る とともに, 若手教 員の範となるよ	せるとともに,若 手教員に助言をし	
	危機管理力	○安全教育・防災教育 をはじめ危機管理の 重要性を理解し、危 険を察知したとき、状 況に応じた行動をし ている。	をはじめ危機管理に 関する知識を身に付 け、早期発見や想定	る意識を高め, 危険を予測して 行動するととも に,安全に配慮 した環境づくりを	レーションを行い, 対 応 を 考 え , グ ル ー プ の 中 心 と なって未然防止に	教育・防災教育の取 組を発信したり, 危機
	家 庭 ・ 地 域 と の ネットワーク構 築 カ	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	携・協働の意義を踏 まえ, 家庭や地域と	(人材・施設・伝 統行事等)につ いての情報を把	きかけ, 教育活動 を充実させるため のネットワークを	地域と協働する教育
			働活動に取り組んで	握し、その活用		活期を推進している。

	キャリアステージ	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2スラ	テージ〉	〈第3ステージ〉
資質	·能力	養成期	基盤形成期	伸長•充実期	深化·発展期	熟達期
	使命感・情熱・たくましさ	○ 教育的愛情と熱意を もって教育活動に臨 もうとしている。	いる「人財」の育成を	島教育大綱に示されて 目指し, 使命感と情熱を り強く教育活動に取り組		・ 誇り, たくましい精神力と 育活動を推進している。
	倫 理 観	○ 社会人としての常識 やマナー, 道徳性を身 に付け, 法令遵守の 精神に基づいた行 動をしている。	守し、誠実かつ公正し 地域の信頼を得てい	こ職責を遂行し、家庭や		に応え, 法令等の遵守を きかけ, 組織の志気を高
素養	人権尊重の精神	○ 自他を大切にし、人 権感覚を身に付け、 互いに尊重し合う人 間関係を築いてい る。	把握し、差別やいじる るとともに、教育的愛	えている悩みや願いを めを許さない集団をつく 愛情をもち、人権を尊重	向けて,関係機関等	を記し関する課題の解決に 等とともに取り組み、人権 るよう家庭や地域に広め
	識見・学び続けるカ	○学び続ける意欲をも ち,他者の意見を謙 虚に受け止めてい る。				ちされた識見を有し、課 もって自己研鑽に努める いる。
	社 会 性 ・ コミュニケーションカ	〇コミュニケーションス キルを身に付け、他 者と積極的に関わ り、助け合っている。	考えを適切に伝えなれ	と幅広く関わり, 自分の がら, 助け合っている。	に, 管理職や学年	ションを活性化するととも・職種等の異なる教職員 、支え合う環境づくりをし
	児 童 生 徒 理 解・ 指 導 カ	○生徒理解の意義を 理解し、生徒指導や 教育相談等の基本 的な方法を身に付け ている。	人ひとりの人格を尊 重し、共感的理解に	し、長期的な視野をも 動力を獲得できるよ	等をより多面的に理解 らって社会的資質や行う意図的・計画的に指 こ、若手教員に助言を	ともに、全ての教職員
	集 団 づくりカ	〇担任の職務内容や 集団づくりの意義を 理解し、ホームルー ム経営の基本的な 指導方法を身に付け ている。		高めるとともに, 集団 化させている。	けして, よりよい集団に 引相互の関わりを活性	○学校全体の集団づく りの取組を視野に入 れ,活性化させるた めの具体的方策を提 案している。
担任力	課題解決力	○学校生活の中で生じる様々なの発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	き, 生徒, 保護者, 他の教職員と相談し ながら, 的確に課題	要に応じて専門家とすを図り、その様々な力	B.速な発見に努め, 必 連携しながら課題解決 ӯ策について若手教員	
	特別な配慮を要する児童 生徒への理解・支援力	○特別支援教育の重 要性を理解し、基本 的な指導・支援の方 法を身に付けてい る。	ニーズを把握し、他	高め、生徒の成長を低 ともに、関係機関とも	足す指導・支援を行うと 連携し,特性に応じた	
	未来ビジョン育成力	○キャリア教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	を踏まえた指導の場	踏まえ、地域社会で身を促し、社会的・職業 生き方の実現に向け	キャリア教育の視点を 果たすべき役割の自覚 的な自立と自分らしい て、家庭との連携を図 育活動を通じて指導・	が充実するよう助言 するとともに, 地域社

キャリアステージ		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ス -	テージ〉	〈第3ステージ〉
資質	・能力	養成期	基盤形成期	伸長·充実期	深化•発展期	熟達期
	カ リ キ ュ ラ ム マ ネ ジ メ ン ト カ	○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等 を理解している。		な教育課題に対応	幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かし	えながら, カリキュラ ムを見直し, 組織的 に改善したり調整した
			○学力調査・学校評価 等の結果を,日々の 授業改善に結び付 けている。	年や担当教科等の「	中心となって, 長期的・	○学力調査・学校評価 等の結果に基づき,学 校の課題を把握し,改 善策を組織的に展開 している。
授業力	授業構想力	○生徒の活動の姿や 思考の流れを想定し ながら,教材を分析 し,教科・科目等の 学習指導案を書いて いる。	教科・科目等の育成 を目指す資質・能力 の定着に向け、目標	導力を高め、生徒の わたる社会生活や専	実態に即して、生涯に 評門的な学習につなが	
	授 業 実 践 力	○基本的な指導技術を 身に付け、生徒の学 習の様子を把握しな がら授業を実践しよ うとしている。	能力の定着に向け、 発問・板書・ICT機	法を活用し、授業を原	展開するとともに,若手	○幅広い情報を基に自 分の指導技術や指導 方法を更新しつつ, 範を示したり,授業力 向上を働きかけたりし ている。
			〇生徒の習得状況を 目標に照らして評価 し、指導・支援をして いる。	一人ひとりの習得状え	況を把握し,補充的・発	○個と集団の質的な学習の深まりを把握し、 意図的・計画的な指導・支援をしている。
	授業省察力・改善力	○ 授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	返り改善する習慣	に、助言を受けて、自	自分の授業を客観的に	○学校全体の授業改善 に取り組む環境づくり に努め、教員の個性 を生かす助言をして いる。
	組織マネジメントカ	○組織の一員として, 目標と自分の役割を 理解し、協働して責 任を果たそうとして いる。	理解し,報告・連絡・ 相談を適切に行い	みを分析したり、 PDCAサイクルを活 用したりしながら、組	として, 創意工夫 や企画力を発揮 し, 他のグループと	きるよう率先して工夫 改善に努め、学校全
			○校務分掌等の業務 内容を理解し、計画 的に職務遂行に努 めている。	を, 周囲の教職員と	の工夫改善を図る	
協働力	O J T 推 進 • 人 材 育 成 力		○ 互いの課題や悩み を解決するため情報 交換を積極的に行う とともに、先輩教員 に相談したり助言を 求めたりしている。	の共有を図るととも に、若手教員の範と なるよう努めている。	せるとともに, 若手 教員に助言をして	
	危機管理力	〇 安全教育・防災教育 をはじめ危機管理の 重要性を理解し、危 険を察知したとき、 状況に応じた行動を している。	をはじめ危機管理に 関する知識を身に 付け、早期発見や	意識を高め、危険を 予測して行動すると ともに、安全に配慮 した環境づくりをして いる。	レーションを行い, 対 応 を 考 え , グ ル ー プ の 中 心 と	教育・防災教育の取 組を発信したり、危機
	家 庭・地 域 と の ネットワーク構 築 カ	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、 ボランティア活動や 地域の行事等へ参 加している。	携・協働の意義を踏 まえ、家庭や地域と	材・施設・伝統行事 等)についての情報 を把握し、その活用	かけ,教育活動を 充実させるための	や地域と協働する教

	キャリアステージ	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ス	テージ〉	〈第3ステージ〉
資質	·能力	養成期	基盤形成期	伸長·充実期	深化·発展期	熟達期
	使命感・情熱・たくましさ	○ 教育的愛情と熱意を もって教育活動に臨 もうとしている。		目指し, 使命感と情熱		誇り、たくましい精神力と 育活動を推進している。
	倫理観	○ 社会人としての常識 やマナー, 道徳性を身 に付け, 法令遵守の 精神に基づいた行動 をしている。	地域の信頼を得ている	職責を遂行し, 家庭や		に応え, 法令等の遵守を きかけ, 組織の志気を高
素養	人権尊重の精神	○ 自他を大切にし, 人 権感覚を身に付け, 互いに尊重し合う人 間関係を築いてい る。	団をつくるとともに、教	やいじめを許さない集 育的愛情をもち、人権	けて,関係機関等と	に関する課題の解決に向 とともに取り組み、人権尊 よう家庭や地域に広めて
	識見・学び続けるカ	○ 学び続ける意欲をも ち, 他者の意見を謙 虚に受け止めてい る。				ちされた識見を有し,課題 って自己研鑚に努めるとと る。
	社 会 性・コミュニケーションカ	○コミュニケーションス キルを身に付け、他 者と積極的に関わり、助け合っている。	考えを適切に伝えなか		に, 管理職や学年・	ションを活性化するととも 職種等の異なる教職員と 支え合う環境づくりをして
担任力	幼児児童生徒理解・指導力	○ 幼児児童生徒理解 の意義を理解し、生 徒指導や教育相談 等の基本的な方法を 身に付けている。	○ 幼児児童生徒に向き合い, 一人ひとりの人格を尊重し, 大小の人のととのでいた。 社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	的に理解し,長期6 的資質や行動力を3 計画的に指導・支抗 教員に助言をしてい	的な視野をもって社会 獲得できるよう意図的・ 爰をするとともに, 若手	理解し, 細 やかな配 慮をするとともに, 全
	目標の明確化・ 実態把握力	⇒ 幼児児童生徒の実 ・		結果の活用や,課題 拠に基づいた実態 目標を明確にしてい	題分析等の客観的な根 把握に取り組み,指導	めるための効果的な
	集 団 づくりカ	○担任の職務内容や 集団づくりの意義を 理解し、学級経営の 基本的な指導方法を 身に付けている。	○ 一斉授業において、 個別目標に対応した 題材を設定したり、役 割をもたせたりして、 集団づくりの工夫を 行っている。	他の学部と合同で を行い、幼児児童生 ションを活発にし、	全年,学部で行うもの, 行うもの等の集団構成 E徒同士のコミュニケー 自発的なコミュニケー な集団づくりに積極的	れ,活性化させるため の具体的方策を提案
	課題解決力	○ 学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	のアドバイスを受けながら、特別支援教育の最新の知見に基づ	果をもとに, 自分の とともに, 必要に応 がら, 複数の教職員 決に向けてチームで	指導方法の修正を行う じて専門家と連携しな 員と課題発見や課題解	的できめ細やかな指
	未来ビジョン育成力	〇 キャリア教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。		キャリア教育の視点 えた連携や、家庭 業、就労支援機関。 あらゆる教育活動で ている。	, グローカルな視野と 京を踏まえ, 学校種をこ 、地域、福祉施設、企 との連携を図りながら、 を通じて指導・援助をし	を通じて、キャリア教育 の視点を踏まえた指 導が充実するよう、助

	キャリアステージ	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ス	テージ〉	〈第3ステージ〉
資質	·能力	養成期	基盤形成期	伸長•充実期	深化・発展期	熟達期
授	カ リ キ ュ ラ ム マ ネ ジ メ ン ト カ	○教育要領・学習指導 要領の「目標」「内 容」や系統等を理解 している。	に応じ,作成の意図	実態や新たな教育 課題に対応するた	○ 各学年間の系統や 幼・小・中・高の接 続を見通して、学 校の特色を生かし た創意工夫のある カリキュラムを作成 している。	えながら, カリキュラムを見直し, 組織的に 改善したり調整したり
	授業構想力	○ 幼児児童生徒の障がいや発達段階に適した授業イメージをもち、学習指導案を作成している。	な根拠に基づいた幼 児児童生徒の個別の	目指す資質・能力の 意工夫のある授業 発に取り組んだりし	の定着を図るため, 創 を構想したり, 教材開	
授業力	授業実践力	○ 基本的な指導技術を 身に付け、幼児児童 生徒の学習の様子を 把握しながら授業等 を実践しようとしてい る。	法を考え, 個々の幼 児児童生徒の実態に	て, 幼児児童生徒- を把握するとともに 的な指導・援助を行	-人ひとりの習得状況 , 適切に補充的・発展	分の指導技術や指導
	授業省察力・改善力	○ 授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	具体的な学習成果の	ができる」というポジ 評価しており、担任	ジティブな行動レベルで こと幼児児童生徒に関 『の効果を確認しなが	について, 学校全体
	組織マネジメントカ	○ 組織の一員として, 目標と自分の役割を 理解し、協働して責 任を果たそうとしてい る。	談を適切に行いながら、日々の教育活動 に協働して取り組ん でいる。	弱みを分析したり, PDCAサイクルを 活用したりしなが ら,組織を活性化 させている。	として、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。
			○ 校務分掌等の業務内 容を理解し、計画的 に職務遂行に努めて いる。	務を、周囲の教職	○ 校務分掌等の業務 の工夫改善を図る とともに、若手教員 に助言をしている。	
協働力	O J T 推 進・ 人 材 育 成 力		○ 互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	の共有を図るとと もに, 若手教員の 範となるよう努め	○ 校内研修を充実させるとともに、若手 教員に助言をしている。	
	危機管理力	○安全教育・防災教育 をはじめ危機管理の 重要性を理解し、危 険を察知したとき、状 況に応じた行動をし ている。	関する知識を身に付 け, 早期発見や想定	意識を高め、危険 を予測して行動す るとともに、安全に 配慮した環境づくり	○ 緊 急 時 の シミュ レーションを行い、 対 応 を 考 え 、 グ ル ー プ の 中 心 と なって未然防止に 向 け 行 動 し て い る。	かし、地域と協働した 創意工夫のある安全 教育・防災教育の取 組を発信したり、危機
	家 庭・地 域 と の ネットワーク構築カ	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、 ボランティア活動や 地域の行事等へ参加している。	携・協働の意義を踏 まえ、家庭や地域と	(人材・施設・伝統 行事等)について の情報を把握し,	○ 家庭や地域に働き かけ、教育活動を 充実させるための ネットワークを形成 している。	地域と協働する教育

	キャリアステージ	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ス	テージ〉	〈第3ステージ〉
資質	・能力	養成期	基盤形成期	伸長•充実期	深化・発展期	熟達期
	使命感・情熱・たくましき	○ 教育的愛情と熱意を もって教育活動に臨 もうとしている。	ている「人財」の育成	島教育大綱に示され を目指し, 使命感と情 , 粘り強く教育活動に		誇り, たくましい精神力と 育活動を推進している。
	倫 理 観	○ 社会人としての常識 やマナー, 道徳性を身 に付け, 法令遵守の 精神に基づいた行 動をしている。	遵守し, 誠実かつ公司 庭や地域の信頼を得	Eに職責を遂行し、家		に応え, 法令等の遵守を きかけ, 組織の志気を高
素養	人権尊重の精神	○ 自他を大切にし, 人 権感覚を身に付け, 互いに尊重し合う人 間関係を築いてい る。	願いを把握し,差別 ⁴ 団をつくるとともに,	やいじめを許さない集 教育的愛情をもち、人	けて,関係機関等と	に関する課題の解決に向 ともに取り組み、人権尊 よう家庭や地域に広めて
	識見・学び続けるカ	○ 学び続ける意欲をも ち,他者の意見を謙 虚に受け止めてい る。	に、主体的に研修に関		○ 豊かな経験に裏打 意識と探究心をもっ もに、範を示している	ちされた識見を有し, 課題って自己研鑽に努めるととる。
	社 会 性・コミュニケーションカ	〇コミュニケーションス キルを身に付け,他 者と積極的に関わ り,助け合っている。	の考えを適切に伝え	と幅広く関わり, 自分ながら, 助け合ってい	に、管理職や学年・	ションを活性化するととも 職種等の異なる教職員と 支え合う環境づくりをして
	児 童 生 徒 理 解 · 指 導 力	○ 児童生徒理解の意 義を理解し、生徒指 導や教育相談等の 基本的な方法を身に 付けている。		に理解し,長期的 資質や行動力を獲	な視野をもって社会的 き得できるよう意図的・ 爰をするとともに,若手	るとともに、全ての教
	集 団 づくりカ	○集団づくりの意義や 基本的な指導方法 を理解し、養護教諭 としての指導方法を 身に付けている。	ながら, 集団づくりの 経営方針に沿って,	積極的に関わり、 性化させ、よりよい	集団相互の関わりを活 集団づくりに専門性を	○ 学校全体の集団づくり の取組を視野に入れ、活性化させるため の具体的方策を提案 している。
担任力	課題解決力	○ 学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	者,他の教職員と相 談しながら,的確に	必要に応じて専門 解決を図り、その村	家と連携しながら課題 様々な方策について若	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。
	特別な配慮を要する児童 生徒への理解・支援力	○特別支援教育の重 要性を理解し,基本 的な指導・支援の方 法を身に付けてい る。	ニーズを把握し,他 の教職員や保護者	を高め、児童生徒 援を行うとともに、 特性に応じた指導	応するための専門性 の成長を促す指導・支 関係機関とも連携し、 ・支援の在り方を提案	体制づくりを推進して
	未来ビジョン育成力	○ キャリア教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	を踏まえた指導の場	キャリア教育の視 こえた連携や, 家 支援機関との連携	, グローカルな視野と 点を踏まえ, 学校種を 庭, 地域, 企業, 就労 を図りながら, あらゆ て指導・支援している。	

	キャリアステージ	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ステージ〉	〈第3ステージ〉
資質	能力	養成期	基盤形成期	伸長·充実期深化·発展期	熟達期
	保健管理	○ 学校保健安全法を 理解し、児童生徒の 実態把握の方法や 基本的な保健管理 の方法を身に付けて いる。	階に応じて見られる 心身の疾病や障が い等を理解し, 個々	○ 保健情報を総合的に評価し、学校全体の実態を捉え、健康課題の解決に向けて校内の中心となって対応するとともに予防的措置を講じている。	の学校の養護教諭と
専	保健教育	○ 学習指導要領を理解し、養護教諭の専門性を生かした基本的な指導方法を身に付けている。	自覚し, 学級担任等 と連携し, 専門性を	○養護教諭の専門性を発揮し、児童生徒の実態に応じた保健教育を実践し、評価・改善するとともに、家庭へ広めている。	態に応じた全体計画
守門的職務実践力	健康相談	○学校保健安全法に よる健康相談し, 置付けを理解し, 身の発達康課階に ける健康本的に する法を身に付けて いる。	なプロセスを理解 し、児童生徒の心身 の発達段階の課題 や現代的な健康課 題との関連を踏まえ		全体の課題を捉え, 教職員の意識を高め
,,	保健組織活動	○ 保健組織活動の意 義と学校保健に関す る学校内外の協力 体制の重要性を理 解している。	義を理解し,企画運 営に参画している。	○保健組織活動が効果的に実践できるよう 内容の工夫改善を図るとともに、学校全 体の健康課題の解決に向けて連携を推 進している。	等の地域レベルでの
	保健室経営	○保健室経営の在り 方を理解し、基本的 な保健室経営の方 法を身に付けてい る。	理解し, 保健室経営 計画に沿った実践・	○ 保健室経営の効果的な実践のため、最新の健康情報を得るとともに、工夫改善を図り、校内の健康教育のセンター的役割を果たしている。	係機関等との連携を
	組織マネジメントカ	○ 組織の一員として、 目標と自分の役割を 理解し、協働して責 任を果たそうとして いる。	理解し、報告・連絡・ 相談を適切に行いな	り、PDCAサイクル や 企 画 力 を 発 揮 を活用したりしな し、他のグループと	け,「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全
			○校務分掌等の業務 内容を理解し、計画 的に職務遂行に努 めている。	○ 校務分掌等の業 務を, 周囲の教職 員と調整しながら 遂行している。 ○ 校務分掌等の業務 の工夫改善を図る とともに, 若手教員 に助言をしている。	務の効率化を推進し
協働力	O J T 推 進・ 人 材 育 成 カ		○互いの課題や悩み を解決するため情報 交換を積極的に行う とともに、先輩教員 に相談したり助言を 求めたりしている。	ともに、若手教員 教員に助言をして	踏まえ、OJTを計画
73	危機管理力	○安全教育・防災教育 をはじめ危機管理の 重要性を理解し、危 険を察知したとき、 状況に応じた行動を している。	をはじめ危機管理に 関する知識を身に付 け、早期発見や想定	険を予測して行動 対応を考え、グ するとともに、安 ループの中心と 全に配慮した環境 なって未然防止に	かし、地域と協働した 創意工夫のある安全 教育・防災教育の取 組を発信したり、危機
	家 庭・地 域 との ネットワーク構築カ	○家庭や地域と連携 する重要性を理解 し、ボランティア活動 や地域の行事等へ 参加している。	携・協働の意義を踏 まえ、家庭や地域と	行事等)について 充実させるための の情報を把握し, ネットワークを形成	役割を認識し, 家庭や 地域と協働する教育

	キャリアステージ	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ス -	テージ〉	〈第3ステージ〉
資質	·能力	養成期	基盤形成期	伸長•充実期	深化•発展期	熟達期
	使命感・情熱・たくましさ	○ 教育的愛情と熱意を もって教育活動に臨も うとしている。		目指し, 使命感と情熱		D誇り. たくましい精神力と柔 育活動を推進している。
	倫理観	○ 社会人としての常識や マナー, 道徳性を身に付け、法令遵守の精神 に基づいた行動をして いる。	遵守し,誠実かつ公正	に職責を遂行し、家		頼に応え, 法令等の遵守を 働きかけ, 組織の志気を高
素養	人権尊重の精神	○ 自他を大切にし、人権 感覚を身に付け、互い に尊重し合う人間関係 を築いている。	いを把握し、差別やい	じめを許さない集団を	けて,関係機関等	権に関する課題の解決に向 きとともに取り組み,人権尊 るよう家庭や地域に広めて
	識見・学び続けるカ	○ 学び続ける意欲をも ち,他者の意見を謙虚 に受け止めている。				打ちされた識見を有し, 課題 って自己研鑽に努めるとと いる。
	社 会 性 ・ コミュニケーションカ	○ コミュニケーションスキ ルを身に付け、他者と 積極的に関わり、助け 合っている。	考えを適切に伝えなが		に, 管理職や学年	ーションを活性化するととも E・職種等の異なる教職員と ,支え合う環境づくりをして
担任力	児 童 生 徒 理 解 · 指 導 力	○児童生徒理解の意義 を理解し、生徒指導や 教育相談等の基本的 な方法を身に付けてい る。	一人ひとりの人格を尊	的に理解し, 長期 会的資質や行動力 図的・計画的に指	的な視野をもって社 」を獲得できるよう意 導・支援をするととも	もに、全ての教職員で児
	集団づくりカ	○集団づくりの意義や集 団づくりの基本的な指 導方法を理解してい る。	ながら、集団づくりの	に積極的に関わり を活性化させ、より 門性を生かしなが	,集団相互の関わり リよい集団づくりに専	
	課題解決力	〇学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	児童生徒, 保護者, 他 の教職員と相談しな がら, 的確に課題解	め,必要に応じて ら課題解決を図り	専門家と連携しなが ,その様々な方策に	○ 学校が直面する様々な 課題を把握し、組織的で きめ細やかな指導・支 援が行われるよう働き かけている。
	特別な配慮を要する児童生 徒 へ の 理 解・支 援 カ	○ 特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	ニーズを把握し、他の	性を高め、児童生 導・支援を行うとと	徒の成長を促す指さし、関係機関とも これに、関係機関とも こた指導・支援の在り	づくりを推進している。
	未来ビジョン育成力	○ キャリア教育の重要性 を理解し、基本的な指 導方法を身に付けて いる。	踏まえた指導の場を	とキャリア教育の: 種をこえた連携や, 就労支援機関との	、グローカルな視野 視点を踏まえ、学校 家庭、地域、企業、)連携を図りながら、 を通じて指導・支援し	○ 学校の教育活動全体を 通じて、キャリア教育の 視点を踏まえた指導が 充実するよう、助言をし ている。

	キャリアステージ	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ステージ〉	〈第3ステージ〉
資質	·能力	養成期	基盤形成期	伸長•充実期 深化•発展期	熟達期
	学校給食の管理	○ 学校給食法を理解し、 安全を心なけんさいる。 でいる。 ○ 学校給食に必要な調 理技術を身に付けている。	基づき, 食品構成や 調理作業工程を考慮 した献立を作成してい る。 ○学校給食衛生管理基	査等による状況把握から適切な栄養管理を行うとともに、教職員への情報提供や助言をしている。 ○ 市町村内の全学校給食施設において、安全安心な給食業務ができるように、近隣の栄養教諭等と連携しながら、マ	関し、各校や所属する 市町村において指導的 役割を果たしている。
	個別的な相談指導	○ 児童生徒の食生活の 現状を認識し, 個に応 じた相談指導の重要 性を理解している。	流れを理解し, 学級担	学校医等と連携しながら適切な対応を	践に関し、近隣の栄養
専門的職務	教 科 等 に お け る 教 育 指 導	○学習指導要領における食育の位置付けと、 食育全体計画作成時の栄養教諭の役割を 理解している。	し、学級担任等と連携 しながら、給食時間の	するとともに、食育実践を保護者等に 発信することで、家庭や地域との連携	われるよう, 高い専門性 を生かし, 助言をしてい
務実践力	秋 月 拍 等	○食に関する指導の学 習指導案作成や教材 研究を行っている。		○ 校内及び市町村研究会等で,授業や 実践発表を積極的に行うとともに,社 会状況の変化に合わせた最新の知識 や指導技術を取り入れ,指導の改善を している。	技術や指導方法を提示し、栄養教諭の範とな
	食育コーディネーターとしての連携・調整	の、学校内外の連携 の方法や、重要性を 理解している。	として, 市町村学校食		
				○ 地域の生産者団体等と連携し、様々な体験活動を企画・調整する等、地域の食育推進に関わっている。	
	食に関する指導と学校給 食の管理の一体的な展開	○食に関する指導と学校給食の特質を理解し、それらを一体的なものとして実践しようとしている。	校給食が「生きた教 材」となるような献立	○ 学校給食を「生きた教材」として活用するとともに、食に関する指導によって得られた知見や情報を給食管理に生かすことで、両者を一体のものとして展開している。	関する指導の相乗効果 が得られるように、教職
	組 織 マネ ジメントカ	○ 組織の一員として, 目標と自分の役割を理解し, 協働して責任を果たそうとしている。	解し、報告・連絡・相	│ り,PDCAサイク 工夫や企画力を │ ルを活用したりし 発揮し,他のグ	け,「チーム学校」として の組織力が発揮できる よう率先して工夫改善に 努め,学校全体の教育 計画の作成に参画して
			○ 校務分掌等の業務内 容を理解し,計画的に 職務遂行に努めてい る。		務の効率化を推進して いる。
協働力	O J T 推 進 · 人 材 育 成 力		○ 互いの課題や悩みを 解決するため情報交 換を積極的に行うとと もに、先輩教員に相談 したり助言を求めたり している。	ともに、若手教員 若手教員に助言 の範となるよう努 をしている。	まえ, OJTを計画的・継
	危機管理力	〇 安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	はじめ危機管理に関する知識を身に付け、 早期発見や想定外の	険を予測して行い、対応を考え、動するとともに、グループの中心安全に配慮したとなって未然防	し, 地域と協働した創意 エ夫のある安全教育・ 防災教育の取組を発信 したり, 危機管理体制づ
	家庭・地域とのネットワーク構築力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	協働の意義を踏まえ, 家庭や地域と積極的		割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動 を推進している。

とくしま教員育成指標

次 后	職位	教頭副	校長 校 長
貝貝	使命感·責任感	〇校長を補佐する自覚をもち、校務全般を把握するとともに、それらが円滑に機能するよう、責任感をもって自分の役割を果たしている。	〇学校の最高責任者としての覚悟をもち、法令等に基づいて適正な学校経営を行い、よりよい児童生徒の育成に使命感をもって取り組んでいる。
素	倫理観	〇法令を遵守し、鋭い人権感覚のもと、誠実かつ公正に職務を遂行するとともに、教職員に対してもコンプライアンスに関する的確な指導をしている。	〇鋭い人権感覚と規範意識に基づき, 職務を遂行 するとともに, 教育公務員としての職責や義務を 教職員に示している。
養	リーダーシップ・ 決 断 カ	○組織のリーダーとしての自覚をもち, 的確で迅速な判断と指示を行い,校 務を遂行している。	〇豊かな人間性と経験に裏打ちされた高い識見に 基づき、冷静に状況を見極めて最終決断をして いる。
	先見性・識見	〇最新の情報を収集し、学校に対する 社会の要請を自覚し、情報を基に適 切な判断をしている。	〇学校を取り巻く状況を把握し、時代を見通した学 校経営ビジョンの形成に生かしている。
	社会性·人間 関係構築力	〇家庭, 地域, 学校関係者や関係機関 等との関係性を高め, 協働的な関係 を築いている。	〇家庭, 地域, 学校関係者や関係機関等と広く関わり, 信頼関係を築いている。
学校マネジュ	企 画 経 営 力	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」 の理念を理解し、校長の指導のもと、 具体目標の立案やその実現に向けた方策を提案している。 ○常に新しいものを創り出すチャレンジ精神をもち、教育を取り巻く社会の変化に対応した企画力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、学校や地域の実態を踏まえたカリキュラムマネジメントを推進するために、教職員に指導・助言し、学校全体で取り組む体制づくりをしている。 ○学校評価等の結果を分析し、PDCAサイクルに基づいて教育活動の改善を提案・実践している。	 ○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の趣旨を生かした中・長期的な経営ビジョンを明確にし、学校経営方針を策定している。 ○国の動向や県の教育施策を熟知し、新たな教育環境を生み出す企画経営力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、具体的目標や重点目標を掲げ、家庭や地域を巻き込んだカリキュラムマネジメントを確立している。 ○学校の教育活動や学校経営の課題を的確に把握するための計画的な評価改善に努め、新たな企画に生かしている。
ノメントカ	組織づくりカ	○組織の全体像を把握するとともに、学校教育目標に沿った体制整備をしている。 ○組織運営に関わる外部・内部環境を把握し、学校の強みを見出している。 ○教員評価を実施し、その結果を基に一人ひとりのもつ能力を積極的に引き出すとともに、教職員の自己有用感を高め、「チーム学校」を活性化している。	○学校教育目標の実現のために、多面的な視点から組織を統括している。○組織全体を俯瞰し、学校の強みを生かした組織づくりを行っている。○学校の教育活動が効率よく最大の効果があげられるように、教員評価の結果を生かし、「チーム学校」を牽引している。

資質	職位	教 頭 副	校長校長
	危機管理力	○災害や想定外の事態の発生に備え、訓練を工夫・実践するとともに、危機管理マニュアルを絶えず見直し、発生時には迅速に対応している。 ○学校運営上必要な校内人事・施設・事務(財務・文書等)を管理している。 ○学校環境の安全を絶えず点検し、課題について適切に対応している。	 ○災害や想定外の事態の発生に備え、危機管理体制を確立し、発生時には状況を見通し、的確な指示を出している。 ○学校経営上必要な所属職員の管理・監督を行い、施設・事務(財務・文書等)の管理状況を掌握している。
学校习	学校資源整備・活用力	○教育予算を把握し、施設の適切な管理や予算運用をしている。○外部との様々な調整の実務担当者として、地域の実態を把握し、実情に応じて学校資源を整備・活用している。	○学校資源を把握し、教育予算等を有効活用する中で、組織の持続・成長の方策を打ち出している。 ○学校、地域の人的・物的資源を正確に把握し、地域の状況に応じて、学校資源活用の方針を策定している。
マネジメントカ	人材育成力	 ○経験を生かし、キャリアステージに応じた教職員の育成のために、的確に指導・助言している。 ○人材発掘に努め、常に意図的・計画的に中核教員を育成している。 ○校長の指示のもと、教職員の資質・能力向上のための体制づくりに積極的に関わっている。 	 ○教職員一人ひとりの資質・能力や実績を適切に 把握し、人材活用に生かすとともに、それぞれ の職務の立場からキャリアステージに応じた育 成指導を行うよう指示している。 ○意図的・計画的な人材育成に努め、マネジメント 能力に長けた学校リーダーを育成している。
	連 携・交 渉 カ	○家庭、地域や関係機関等と連携し、 情報を共有しながら、協働活動に取り 組んでいる。 ○家庭や地域との連携において、教職 員を支援している。	〇家庭, 地域や関係機関等との協働活動を積極的に推進し, 地域に根ざした学校づくりを行っている。 〇教育委員会や関係機関等と適切に連携し, 調整 ・折衝を行いながら学校の課題解決につなげて いる。
	職場環境づくり力	○教職員の長時間労働解消やメンタルへルスの保持増進に率先して取り組んでいる。○教職員間のコミュニケーションを活性化し、相互理解を促進するとともに、課題の解決や合意形成が協働的に行われるようにしている。	○ワーク・ライフ・バランスを推進し、職場環境における課題の解決を図り、効率がよく働きやすい職場づくりをしている。 ○教職員間の関係性に配慮し、互いに信頼し、認め合う風通しのよい職場づくりを行っている。

とくしま教職員研修体系

キャリアステージに応じた研修

〈採用前〉

養成期

教育活動に取り組む 意欲と基礎的な知識・ 技能等がある。

> 採用前 研修

〈第 | ステージ〉

基盤形成期

学習指導や生徒指導・学級経営についての実 践的指導力を磨き、教職生活の基盤を固めてい る。

フレッシュ 研修

新任教諭等

フレッシュ 研修 Π

教職1年を終了した教諭等

ジャンプ アップ 研修

教職4年を終了した教諭等

基本研修

目的やニーズに応じた研修

職務研修

職責・職能等に応じた知識・技 能等を習得し、職務遂行の能力の 向上を図るための研修講座

- 〇学力向上,道德教育,人権教育, 生徒指導,保健,安全,防災教 育に関わる教職員の研修
- ○特別支援教育に関わる教職員の
- ○食育に関わる教職員の研修
- ○事務, 司書, 技師, 実習に関わる 教職員の研修 等

希望研修

自己の教育課題の解決のために, 自由に選択して学ぶことができる。 次の3種類があり、様々な教育 活動に関わるニーズに応えるため の研修講座

- ○専門・課題
- ○教科等
- ○情報教育「ICT活用指導力向上 研修工

特別研修

喫緊の教育課題の解明を図るた めに国や県の施策を受けて重点的 に進めていく研修講座

- ○英語教育に関する研修
- I C T活用に関する研修 ○防災教育に関する研修
- ○人権教育に関する研修
- ○道徳教育に関する研修
- ○あわ文化教育に関する研修

〈第2ステージ〉

〈第3ステージ〉

伸長・充実期深化・発展期

実践的指導力に関する 専門性を高めるとともに、 ミドルリーダーとしての 推進力を発揮している。

ミドル リーダー 研修 I 教職9年を終了 した教諭等 ミドル リーダー 研修 II 教職 15 年を終了 した教諭等

熟建期

経験に裏打ちされ、熟達した実践的指導力を基に、後進の育成にあたっている。 リーダーとして、広い視野で組織的な運営 を行っている。

リーダー シップ **養成研修** 主幹 教諭 研修

指導 教諭 研修 学校リーダー 研修

校長研修 新任校長等研修 副校長・教頭研修 新任教頭等研修

エキスパート研修

(職務研修,希望研修,派遣研修等)

推薦研修

市町村教育委員会や学校からの 推薦を受けて実施する研修講座

- ○教育課程研究集会
- ○複式学級指導者研修講座
- ○幼稚園等マネジメント研修
- ○学校体育指導者講習会
- ○薬物乱用防止教育研修会 等

、大学・研究機関等研修

教育活動に関する各分野の専門性を高めるために,県内大学,研究機関等で実施される研修講座

鳴門教育大学,徳島大学,徳島 文理大学,四国大学,徳島工業短 期大学,農業大学校,徳島県立博 物館,阿南市科学センターで実施

[「]教育職員免許法認定講習

特別支援学校の普通免許を取得 するための研修講座

派遣研修

海外,文部科学省,大学,関係諸機関等,学校以外の施設に派遣され,職務上必要な専門知識・技能の習得及び社会の構成員としての視野の拡大を図る研修講座